

チャレンジ工房News

第 60 号

平成 28 年 3 月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

イラスト Aya・keiko

工房の日々 ～それぞれの研修・作業風景～

Cさん

いつも、自家用車の軽トラックで通所されている当工房の最年長の C さんは、今年に入ったから「インターネット」のテキストを一冊やり終えられて、先月の下旬から「メール」の学習を実際に、「メールを送受信する」などの実施研修を交えながらしてもらっています。

C さん自身、メールをすることが初めてだということもあり、自分のメールアドレス、パスワードや相手先のメールアドレスを入力するのに、かなり手こずられていました。

今は、毎日のように工房で浜松の娘さんとメールのやり取りをされていて、ご自身の工房での研修の写真を添付ファイルにして送るなどをして楽しみながらやられておられています。



また、C さんは、歴史に興味があるようで、インターネットの研修では検索エンジンで、歴史にまつわる人物や出来事などを検索して貰い、実際インターネットで興味があることを調べる練習を繰り返してもらっています。

歴史ものを C さんがインターネットの検索エンジンであれこれ調べられているかわら、その歴史にまつわるお話を私たちにも色々話して下さいました。

私たちも何だか歴史に少し詳しくなれたような気がしました。

インターネットの研修でも最初は、検索エンジンとかを使わずに、テキスト通り閲覧したいホームページアドレスを入力して、そのホームページをみてもらう練習をし

てもらいましたが、「ホームページアドレスを入力する」という作業は、半角英数字で 1 つも間違えずに正確に打ち込んで行かないといけないため、かなり苦労されていました。

だんだんホームページの検索の仕方にも覚えてこられたようで、「今日は、これについて調べてみようかなあ」と言われ、興味津々に調べてみたいことについてのキーワードを検索して調べられています。

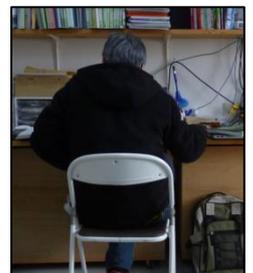
最近、C さんのご兄弟や友人の方々もパソコンの勉強を始められているとのことで、これから C さん自身も今以上にメールやインターネットに慣れ、家族やご友人の方々とメールなどを楽しむことで、少しでもパソコンでの趣味の幅を広げてもらうことができたらと思っています。

Dさん

昨年秋、市内の就労サポートセンターの「職業体験の実習生」として、二ヶ月実習に来られていた D さんは、「企業での再就職を目指して、Excel の MOS 試験を目指したい」と言われ、12 月からは当工房の登録所員として、通所され Excel の MOS の資格取得を目指し、日々頑張られています。

今、Excel の応用のテキストの総合問題をされていて、応用のテキストの総合問題にもなれば IF 関数や Lookup などの複雑な関数の問題が入り雑じっていて、「分からんわ」とか苦笑いをしながらでも、問題に向き合われています。

またホームページ「市民活動の広場あまがさき」のイベントカレンダーに掲載するチラシ集めも快く引き受けて貰っていて、市内 9 ヶ所の公民館に月に 1 回ずつチラシを集めに行っていて貰っています。「一般事務職に就くためには、Word もある程度やっとなあ」と D さん自身言われていて、Excel 応用のテキストをやり終えられたら、Word も基礎のテキストから一通りやって貰おうと考えています。職業体験の実習の頃から D さんは、地道にコツコツとされておられるので、その地道な頑張り「資格取得」や「就職」という結果になってもらえたらと思っています。



3月の予定

3/3(木) 尼うえるフェア店内販売
10:00～15:00

※当工房は、4月始まりのカレンダーとポストカードを販売しました。

3/5(土) うず潮まつり
10:00～13:00
大庄支所

尼うえる庁内販売に参加してきました・・・

今月3日ひな祭りの日に、市役所1階ロビーにて尼うえる庁内販売がありました。この尼うえる庁内販売は、「尼崎市実支援協議会あまのしごと部会」が企画・運営して前年度より、年に2・3回市役所1階ロビーで行われている市内の障害者就労支援施設が集っての自主製品販売会です。当工房も初回より積極的に参加していて、今回も「4月はじまりのチャレンジ美術館オリジナルカレンダー、花言葉カレンダー」と春らしいポストカードを販売しました。



尼うえる庁内販売は、決められたスペースに複数の事業所の自主製品を並べて販売することもあって、「季節にちなんだもので、使い勝手がよくてデザイン性があるもの」をお客様の目を引くようなポップ、商品の陳列などのディスプレイを考えないとなかなか販売数を伸ばすことは難しいので、毎回スタッフで頭を抱えながら考えています。

特にカレンダーは、いくら来年の3月までの4月始まりのを作ったと言え、季節ものなので、お客様にカレンダーの中身のデザインの良さを感じて貰わないとなかなか購入して頂けるのには至りませんでした。

尼うえる庁内販売に向けて、Ayaさんにもポストカードの制作やチャレンジ美術館オリジナルカレンダーの表紙、1月～3月までのイラストの差し替え作業を1月末から頑張っておりかかってもらいました。

今回のAyaさんのオリジナルカレンダーの1月～3月までのイラストの出来は、どこかの雑貨屋さんなどで普通にポストカードとして、売っていてもおかしくないほどのできだったので、「Ayaさんもこんなイラストまで描けるようになったのか」と思わず私の方が嬉しくなり、つい欲が出てしまって、庁内販売直前にも関わらず、カレンダーの表紙を「今年の干支の猿のカップルが桜並木を歩いているような挿絵の表紙にしてほしい」と注文をつけました。

Ayaさんも私の期待に最後の最後まで応えてくれようとして、毎晩19時まで私たちと一緒に工房に残って頑張ってくれました。

そんな彼女の頑張りを見てただけに、今回の庁内販売では思っていたより、カレンダー・ポストカードともに思っていた販売数には至ることができずに残念でしたが、これを一つのバネにしてAyaさんと共にいい製品づくりを志していきたいと思っています。

今年も東北作業所製品「いちごジャム」の予約販売いたします

5年目の「3・11」が来しました。

3/2に、大庄うず潮まつりで販売する東北作業所からの「かりんとう」「クッキー」などが届きました。いつも梱包用紙に東北地方新聞「河北新報」が使われていて、いつも届いたらしわをのぼして読んでいます。東北の方々の息遣いが感じられる新聞です。今回はその中に読者からの「短歌欄」が入っていました。東北大地震では死者15,894人、行方不明者2,561人にもものぼります。阪神大震災の3倍です。津波の中での行方不明者のことがうたわれた歌が投稿されていました。毎日毎日想い続けておられますので、今でも歌となって投稿が続くのだと思います。

その誌面を取っておかねばと思っていましたのにまぎれさせてしまいました。なんとも心残りで、インターネットなどで探すのですが、河北新聞の短歌欄には出会いません。思い余って河北新報社編集部へ日曜版を送ってもらえないかと送料とともに手紙をだしました。すぐ電話がかかってきて「申し込みの2/28だけでなく2/21版もおくりましょうか。」と仰っていただきました。その2週の「河北歌壇」では、梱包の新聞紙で読んだおぼろげな記憶の中の行方不明者の歌には出会いませんでしたが、いくつもの胸打つ歌が投稿されていました。紹介させてください。「月光にいつも夜濯ぎせし井戸の更地となりて跡をとどめず 東松島 平塚郁子」。

今年で3年目になりますが、宮城県山元町の障害者作業所「工房地球村」で作られる「いちごジャム」の予約販売いたします。津波でいったんは全滅したイチゴ栽培ですが、3年前復興の希望として生産が再生されました。作業所の皆さんが、採りたての大粒のいちごを一粒一粒すりつぶし、丁寧に煮つめて作っています。

180g 1個 750円です。予約締切は4月15日です。6月中旬に届く予定です。

同時にこれまで購入いただいた東北の障害者作業所の「かりんとう」「クッキー」などの物品も、改めて予約販売いたします。同封の予約用紙にご記入の上、

FAX：06-6418-1342

メール：amasgscenter@yahoo.co.jp あてご注文ください。

NPO 法人尼崎障害者センター 東北作業所物品販売事業部

